

部局名	安全環境部	所属名	クリーン推進課	所属長名	笠川 博明	電 話	483-1151 内線3220
-----	-------	-----	---------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3242		事務事業名称	し尿処理事業					短縮コード	経常	3242	臨時	3243
予算区分	会計	01	一般会計	款	04	衛生費	項	02	清掃費	目	03	し尿処理費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等	八千代市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条の2							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
し尿処理業務は、民間業者が数社で作業をしていたが、法改正により業務遂行が不可能になり、代わって財団法人八千代市衛生公社を昭和42年に設立して、市の委託を受け業務を開始した。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	03	安全・環境共生都市をめざして					
公共下水道の普及と浄化槽の設置により、し尿汲取り件数が減少している。今後も件数が減少していくことが考えられる。						大項目（節）	03	環境・衛生					
						中 項 目	04	し尿処理					
						小項目（施策）	01	処理体制の整備					
						細 項 目	01	衛生センターの適正な管理運営					
					実施計画の計画事業								
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		平成19年4月 ～ 平成20年3月		計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	し尿汲取り利用者									
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成21年度に実際に行ったこと： ①し尿収集運搬業務を環境緑化公社へ委託 ②し尿汲取り申請受付業務 ③し尿汲取り手数料の賦課・徴収業務 ④過誤納金の還付									
	※平成22年度に計画していること： 前年度と同じ									
意図 （何を狙っているのか）	し尿汲取り業務を効率的に行い、生活環境の保全を図る。									
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外									
区 分					単位	20年度	21年度		22年度	
						実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標1	し尿処理人口	人	2,191	2,520	2,060	2,097			
	指標2									
	指標3									
活動指標	指標1	し尿汲取り件数	件	10,194	9,491	9,689	9,205			
	指標2									
	指標3									
成果指標	指標1	1件あたりの処理コスト	円	3,786	2,808	2,480	3,066			
	指標2									
	指標3									
上位成果指標	指標1									
	指標2									
	指標3									

コード	3242	事務事業名称	し尿処理事業			所属名	クリーン推進課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			将来的には民間委託や広域化等の検討を進めるが、し尿の汲取りは、市の固有事務であるため現状のまま継続する。		
		☐ 手法プロセスの改革・改善					
		☐ 事業規模の拡大・縮小					
		☐ 統合・役割見直し					
	☐ その他						
☐ 廃止・休止							
☐ 事業完了							
☒ 現状のまま継続							
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			将来的には民間委託や広域化等の検討を進めるが、経費的には現状を維持していく。
				削 減	不 変	増 加	
		成 果	向 上	☐	☐	☐	
			不 変	☐	☒	☐	
			低 下	☐	☐	☐	

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
し尿処理手数料の納入窓口の拡大(コンビニ等)									

所属長コメント	汲取り世帯の減少に伴い、事業についての見直しを今後行う必要があると考えられるが、現時点では未定である。									
	評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。 但し、民間委託や広域化については、検討をすべき。					
		☐ 手法プロセスの改革・改善								
		☐ 事業規模の拡大・縮小								
☐ 統合・役割見直し										
☐ その他										
☐ 廃止・休止										
☐ 事業完了										
☒ 現状のまま継続										